

山 報

高幡不動尊



令和五年節分会 豆撒式 タレントの皆さんと

お釈迦さまの誠め

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純一

元朝大護摩供から始まったお不動さまの迎春期間は、初不動、節分会の大祭を経て、二月十一日をもって魔事無く終え、山内職員一同、やっと一息ついたといったところです。期間中にご参拝された方も、新型コロナウイルスの流行以前と同じとはいきませんが、昨年比べて増えており、また社会全般の活動も、感染対策をとりながらではありますが、少しずつ回復に向かっているのではないかと感じています。

さて、去る二月十六日に立川で開かれたある会合に参加した帰りのこと、財布・携帯電話等が入った手提げが無いことに気づいたのですが、恐らく職員に会場へ送ってもらった車の中にも置き忘れたのだろうと、タクシーの支払いを家族にまかせ、早々に床についたのでした。

次の日の朝、お不動さまに向い、車の中を確認すると手提げは無く、ここでようやく事の重大さに気づくに至り、あわてて警察署に問い合わせたところ、署に届いているとのこと。ホッと胸を撫で下ろし、すぐさま署に向くと、手提げは無事手元に戻ったのでした。拾われた方に御礼をすべく、対応してくれた署員の方に尋ねると、名前を言わずに立ち去ったとのこと。私はただ、心の中でその方に感謝をすることしかできませんでした。

ここにこの出来事を思い返していると、如何に多くの日本人は日々誠実に、そして他人を思いやつていることを改めて知り、これはまさに、

「諸悪莫作、衆善奉行、自淨其意、是諸仏教」

(もろもろの悪をなすことなく、もろもろの善をすすんで行いなさい、そして己の心を浄めなさい。これが諸仏の教誡である。)

という、お釈迦さまを含む七人の仏陀が、共通して保ち伝えたと言われる、この〈七仏通誡偈〉の誡めが、日本の社会に息づいていることのあらわれではないかと思うとともに、振り返って自分もまた、この誡めを保ち、実践していかなければならないと思う出来事となりました。

お不動さまの心——(一一一〇)—— 現代の世相から(80) 廣澤隆之

今やスマートフォンは生活に欠かせない道具になった感じがします。もちろん電話としても便利ですが、その他の利用方法が組み込まれて利便性が格段に向上しました。しかもカメラ機能が飛躍的に発展したため、デジタルカメラのように利用する人も多くなっています。また買

い物では現金支払いをせずにスマートフォンに内蔵された決済機能を使用すると便利です。かつて大阪のホテルでの用事のために日帰りをしたことがありました。うっかり財布を忘れて出かけてしまいましたが、一度も現金払いすることなく自宅と大阪を往復できました。またはじめて行く見知らぬ場所でも、スマートフォンに内蔵された地図に自分のいる場所を表示するよう

に設定すれば、スマートフォンが音声つき案内で目的地まで簡単にたどり着けます。

このような使い勝手のよいスマートフォンの特徴はいわゆるSNSといわれる機能があることでしょう。SNSとは社会での人と人、個人と会社な

どの集団組織、組織と組織などのつながりの網(ネットワーク)を提供する仕組みのことです。それを利用してさまざまな情報が行き交います。郵便や電話も古い形式のSNSと言えませんが、スマートフォンを利用するSNSは情報の量も多く、情報伝達の速度もめざましい発展をしています。そのため情報の網は地球全体を覆うほどの規模になっています。

かつて江戸時代には情報発信の道具としてかわら版がありました。災害や火事、あるいは心中事件など庶民の関心をもつ情報が多く発信されたようです。しかしかわら版では一部の地域の人にしか情報は行きわたたりません。さらに世論を動かす情報発信の道具として西洋で新聞が発展し、その技法が明治時代に日本に伝わり、日清・日露などの戦争をきっかけとして広く新聞が読まれるようになりました。そして今日に至るまで新聞はSNSの重要な役割を担ってきました。しかしさらに国民に情報が伝わる道具としてラジオが

登場しました。太平洋戦争での敗北を国民が受けとめたのは玉音放送でした。新聞とラジオが相補って国民が共有できる情報が発信されたのです。

しかし敗戦後にテレビが登場するとSNSは大きく変化しました。上皇・上皇后陛下の結婚パレードを茶の間のテレビで見るという画期的なことが起こりました。そして東京オリンピックがテレビ放送されたことで素早い情報発信はテレビが主役となりました。またアメリカでのケネディ大統領が銃弾で撃たれる瞬間の映像が全世界に発信され、テレビの威力を多くの人が実感しました。

このように映像を素早く送信するテレビがSNSの主流となつてゆきました。そのテレビには高価な機材や規模の大きな発信装置が必要で、しかも政府によって放送の特定の電波の周波数を割り当てられる仕組みになっています。私たちは発信された情報を受けとめるだけです。

ところがスマートフォンになると事情が一変します。たしかに大きな組織の発する情報も広まりますが、スマートフォンを持つ個人がいつでも情報発信す

る立場にもなれます。最近のテレビでは交通事故や水害や火災などの緊迫した場面が放映されますが、多くの映像はスマートフォンやドライブレコーダーの映像をテレビ用に編集したものです。そしてテレビなどを經由しないで個人の間でも情報が行き交います。

レストランでの食事も撮影され、それが発信されれば多くの人がそれを見ることができま



不動明王立像

個人の些細な日常生活やテレビで放映されないような情報も、そして多くのデマも発信されます。新型コロナのワクチン接種が行われると、ワクチン接種に疑問をもつ多くの情報も発信されました。また特定の個人の間での秘密のやり取りも可能で、そのために犯罪にもスマートフォンが利用される時代になりました。また子供たちがスマートフォンを使ってグループでやり

取りする中でいいじめも深刻化しています。

たしかにスマートフォンは便利ですが、使い方によっては危険と隣り合わせであるともいえます。無数の雑多な情報を的確により分け、自分の生活に役立てるためには情報を読みとる能力が必要となります。そのためには自らの生き方を見つめ、情報の渦の中を生きる知恵が必要です。そのためには何を指して生きるのかを自分自身に問い続ける心を磨くことが肝要であると思います。そしてその根本問題への解答はスマートフォンの中にはないでしょう。この問題は古くから問われ続け、多くの解答が示されてきました。まさしく古くて新しい問題なので

す。情報の波に翻弄されないたくましい心が失われたように思える現代にこそ、この心を見つめる生活を取り戻す必要があります。私は仏教にこそ心を見つめる教えが満ちていると確信します。それゆえに仏さまの前で合掌する生活を大事にしたいと思つています。

廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学名誉教授

● 浄福寺住職

自然豊かな高幡不動尊の 春をお楽しみ下さい

3～5月頃見られる動植物を紹介致します



オナガ



ウグイス



アオゲラ



ヒガシニホトカゲ



ヒキガエル



サラサヤンマ



ルリタテハ



ツマグロヒョウモン



クロアゲハ



サカキ



ミスミソウ



ハナモモ



アカバナユウゲショウ



ショウブ



テイカカズラ



初詣の賑いが戻ってきました 1/1

高幡不動尊
フォトニュース



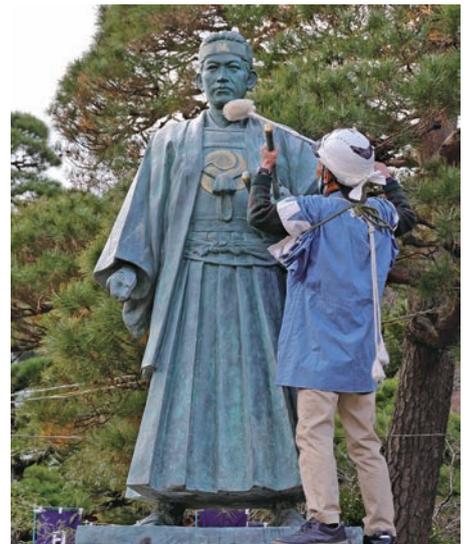
冬至星祭～お加持の様子 12/22



大勢のお稚児さんが参加～初不動 1/28



木遣りで初詣～江戸消防記念会の皆様 1/10



土方歳三像のお身拭い 12/31



だるま市の賑い～初不動 1/28



豆を撒く祇園の舞妓さん芸妓さん 2/3



福銭作りのご奉仕～高幡山遍照講の皆様 1/13



日野市社会福祉協議会へ 12/21



吉野孝壽先生のご法話～初不動 1/28



煤竹を手にと～煤払い 12/13



青空に高々と～文化財防火デー 1/26



日野空手同好会の初稽古 1/8

ご奉納御礼

境内整備緑化資金

寄進者芳名

令和四年十一月一日〜令和五年二月二十日

- 国立市 森 田佳世
- 昭島市 (株) エコス
- 稲城市 寺尾 公平
- 彦根市 西澤 政男

大提灯奉納者芳名

令和四年十一月一日〜令和五年一月三十一日

- 文京区 春耕俳句会
- 日野市 長屋 昭宏
- 日野市 堤 暢子
- 日野市 土方 和
- 日野市 土方 悠人
- 日野市 暁 愛児園
- 日野市 株式会社和興

幟旗奉納者芳名

令和四年十一月一日〜令和五年一月三十一日

- 世田谷区 (株)H&Mアセットプラス
- 世田谷区 山中雅晶
- 世田谷区 山中晴湖
- 立川市 大島清乃
- 立川市 大森久美子
- 二 本 日野市 須崎 巖
- 二 本 日野市 有泉雅弘
- 日野市 加藤 栄子
- 八王子市 阿部 さおり
- 町田市 諏訪 和世
- 清瀬市 沖山 順子
- 二 本 中央市 佐野 千尋
- 大牟田市 石橋 力

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。(敬称をすべて省略させていただきます)



- 一、品名 マスク (手作り) 奉納者 国立市 佐藤 ふじ子
- 一、品名 花瓶 (六本) 奉納者 日野市 岩谷 茂子

お花講 講員の募集

当山ではお花講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会(九月二十八日)に御招待(法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待)致します。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 高幡山お花講
- 一、会 費 一ヶ月 五〇〇円
- ※入講は随時承っております。
- ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』 講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、彼岸会・花まつりなどの法要でお唱えします。高幡山では次々とおり御詠歌の新講員を募集します。大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
- 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
- 一、指 導 密厳流遍照講師範
- 一、会 費 一ヶ月 三、〇〇〇円 (但し、鈴・鉦などの道具は別費)
- 一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時
- 問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」
- 電話 〇四二二五九一〇〇三三二



帰命頂礼遍照尊
 承和の二年春弥生
 御歳六十二歳にて
 高野の奥の岩かげの
 金剛定に入りたもう

「弘法大師入定和讃」

各 種 募 金 総 計 表 (令和5年2月25日現在)

インドハンセン病救援金	(21回)	15,900,000円也
阪神大震災救援金	(4回)	4,104,039円也
トルコ大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
台湾大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
三宅島災害救援金	(2回)	2,000,671円也
インド大地震救援金	(1回)	512,609円也
○イラン大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
カンボジア小学校建設資金	(1回)	100,000円也
ラオス教育振興資金・井戸掘削援助資金	(1回)	800,000円也
新潟中越地震・中越沖地震救援金	(3回)	3,100,000円也
○スマトラ沖地震大津波災害救援金	(1回)	200,000円也
スリランカ・スリジナラタナ社会福祉協会	(1回)	1,030,000円也
○アフガニスタン児童教育援助金	(7回)	5,500,000円也
○アフリカ緊急募金	(16回)	6,800,000円也
パキスタン北部大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
ジャワ島地震救援金	(1回)	1,000,000円也
能登半島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ソロモン諸島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ミャンマー大水害救援金	(1回)	500,000円也
四川省大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
読売愛と光の事業団社会福祉事業基金	(1回)	300,000円也
スマトラ・サモア地震救援金	(1回)	200,000円也
中米ハイチ大地震救援金・チリ大地震救援金	(3回)	1,300,000円也
宮崎県口蹄疫被害畜産農家救援金	(1回)	1,000,000円也
日野市社会福祉協議会への寄附	(24回)	7,200,000円也
東日本大震災救援金	(18回)	32,000,000円也
ネパール大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
熊本地震救援金	(4回)	5,000,000円也
西日本豪雨災害義援金	(1回)	1,000,000円也
令和元年台風15号・19号災害義援金	(1回)	1,000,000円也
ウクライナ人道危機救援金	(1回)	500,000円也
2023年トルコ・シリア地震救援金	(1回)	500,000円也
総 計	(124回)	98,047,319円也

尚 ユニセフ関係募金(○印)は合計一、四二五万円になっております。

平成九年以降皆さまから寄せられました各種募金の合計は左記の通りでございますので御礼旁々ご報告申し上げます。

募金の御礼とご報告
高幡不動尊金剛寺執事

春季大祭記念法話

- ・日時 四月二十七日(木) 午後一時から
- ・会場 五重塔塔院大ホール(聴講無料)
- ・講師 大正大学仏教学部准教授 川崎大教師学研究所教授 智山伝法院非常勤講師 佐々木 大樹 先生



・演題 「お不動さまはなぜお怒りなのか？」

第二十六回ひの新選組まつり開催

本年は新選組結成一六〇周年、日野市市制施行六〇周年の節目の年でもあり、ひの新選組まつりが盛大に開催されます。

五月十三日(土) 「隊士コンテスト」 於、高幡不動尊 五重塔特設会場
五月十四日(日) 「隊士パレード」 於、甲州街道 日野宿周辺会場



第25回 隊士コンテスト審査風景

他にもイベントの開催を予定しております。詳細は日野市観光協会ホームページ内の特設サイトにて随時お知らせしております。

春の行事案内

◇三月

- 12日(日) フリーマーケット
- 19日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉
- 21日(祝) 春分の日 彼岸会法要(午前七時) 大日堂
弘法大師正御影供 〈午前七時〉 大日堂

月例写経会(午後一時三十分)

- 24日(金) 千体地藏尊月例法要(午後二時)
- 28日(火) 月例祭(ご縁日)

◇四月

- 8日(土) 花まつり(灌仏会)〈午前十一時〉

尚、甘茶接待は四月五日(水)〜九日(日)まで行います。

- 9日(日) フリーマーケット
- 16日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉
- 26日(水) 春季大祭国宝まつり(詳細は九頁参照)

- 26日(水) 春季大祭国宝まつり(詳細は九頁参照)

◇五月

- 13日(土) ・14日(日)

第二十六回ひの新選組まつり

- 14日(日) フリーマーケット
- 21日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉
- 21日(日) 月例写経会(午後一時三十分)
- 24日(水) 千体地藏尊月例法要(午後二時)
- 28日(日) 五月大祭

御詠歌法音絵巻

「お大師さま」(午後二時) 塔院大ホール

御詠歌・声明・法話にて弘法大師さまの

ご誕生をお祝いします。

花まつり法要と甘茶接待

四月八日にお釈迦様のお誕生をお祝いする花まつり法要が執り行われます。灌仏会とも呼ばれるこの法要は、お釈迦様がルンビニーでお生まれになったとき龍王が甘露の雨を降らせて祝福した故事にならない誕生仏に甘茶をそそぎます。

当山でも花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの花まつり法要(灌仏会)が行われます。

甘茶接待 四月五日(水)

四月九日(日)

花まつり法要 四月八日(土)

お稚児募集

来る四月二十八日(金)の春季大祭国宝まつりのお稚児を左記の通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

一、日時 四月二十八日(金) 午後二時

一、集合 午前十一時三十分(本坊)

一、申込 四月二十五日まで

一、冥加料 金七千円也

(お護摩料、お守り札、稚児袋、お供物、衣裳料、化粧料、軽食(二人前))

一、年齢 三歳〜七歳位まで

一、ご準備 服装自由(しき紐・細紐を各一本ご持参下さい)

履物はなるべく草履・足袋をご持参下さい。



弘法大師ご誕生一二五〇年慶讃記念 春季大祭国宝まつりのご案内

○四月二十六日(水)

弘法大師ご誕生一二五〇年慶讃法要…午前十一時(大日堂)
智山声明でお大師さまのご誕生をお祝いします

○四月二十七日(木)

大 写 経 会……………午前九時三十分(客殿三階)
写経奉納大護摩修行……………午前十一時三十分(不動堂)
※記念法話【聴講無料】……………午後一時(塔院大ホール)

講 師 大正大学仏教学部准教授
川崎大師教学研究所教授

智山伝法院非常勤講師 佐々木 大樹先生
演 題 「お不動さまは、なぜお怒りなのか？」

○四月二十八日(金)

春季大祭国宝まつり 世界平和祈願
稚児練供養大護摩修行……………午後一時(不動堂)
※奉納演芸【入場無料】……………午後三時(塔院大ホール)

柳 亭 市馬師匠 落語会
桂 小すみ 音曲

◇賑わいますのでお早目にお出かけ下さい。
※五重塔仏伝彫刻拝観日【拝観無料】…午前十時～午後四時
○四月二十九日(土) 昭和の日

千体地藏尊総回向法要
午前の部……………午前十時(千体地藏堂)
午後の部……………午後一時(千体地藏堂)

※記念講演【聴講無料】……………午後二時(客殿二階洋間)
講 師 法政大学名誉教授 馬場 憲一先生

演 題 「江戸時代の高幡山金剛寺」
※奉納神輿練り(地元愛好会奉仕)…午後〇時三十分

出 店 がらくた市(骨董市) ほか

春季大祭国宝まつり 奉納演芸(四月二十八日)



四代目 柳亭市馬師匠



音曲 桂小すみ

千体地藏尊総回向法要

左記によって千体地藏尊総回向法要を勤修し、皆様方の
諸願成就・万霊供養をご祈念申しあげます。ご知友お誘い
合わせてご参拝下さい。

記

一、日 時 四月二十九日(土) 昭和の日

午前の部 十時から
午後の部 一時から

一、会 場 塔院千体地藏堂

一、冥 加 料 金貳千円也(但、お札料)

○ご回向の塔婆をご希望の方は別に参千円(一俵)を添え
てお申し込み下さい。

大 写 経 会 の お 知 ら せ

当山では、春季大祭国宝まつり中左記の通り大写経会を
奉修致しますので、ご知友お誘い合せてご参加下さい。

記

一、日 時 四月二十七日(木) 九時三十分
一、会 場 高幡不動尊客殿
一、会 費 金五千円也(尚、当山招待者は三千円)
(含写経奉納金、昼食代(精進料理)、記念品)
一、募 集 人 数 先着一五〇名

一、日 程

受 付	9:00分
客 殿 集 合	9:20分
写 真 大 護 摩 行 式	9:30分
大 写 経 奉 納	11:30分
貴 主 挨拶	12:15分
記 念 法 話	13:00分

○お申込・お問合せは高幡不動尊写経係まで
TEL ○四二一五九一—〇〇三二番(代)



山内消息

煤払い

十二月十三日、年末の大掃除である煤払いを行いました。今年には数十年前振りに雨の降る中の煤払いとなり、境内全てのお堂内外の煤を落としました。不動堂担当の私は、お不動様の一年数千回に及ぶ護摩修行の煤を入念に払い落とし新年に向けての準備がはじまりました。(五十嵐記)

AED講習

十二月十三日、日野消防署隊員の方々ご指導のもとAED応急救護訓練が行われました。コロナ禍になり要救護者に対して顔を近づけない事や



緊急事態を想定してAED講習

感染症対策を考慮した救護指導をして頂きました。参加した職員達も積極的に質問などをして緊急の事態に備えることの重要性を学んでいました。年末年始沢山のご参拝者がいらっしゃるのを前に、この様な救護指導を受ける事で緊急時に素早く対応出来る準備をしておく事の大切さを改めて感じました。(宮原記)

おみがき

十二月二十日、新年準備のおみがきを山内職員と遍照講の皆様にお手伝い頂き行いました。遍照講の大先輩から若い職員へ磨き方の指導もあり一年間の感謝の気持ちを含めて磨き、いつも以上に仏器が輝いているようでした。(丸山翔記)

星まつり

十二月二十二日、星まつり法要が勤修されました。今年も冬至うどんのご接待があり二百食を超えるほどの大盛況でした。来年は今年以上のうどんを準備してお待ちしております。(杉田周記)

牛王宝印可

一月十五日、牛王宝印のお授けがありました。牛王宝印とは、丈六の不動明王と同じ



年に一度の牛王宝印

材で作られたといわれ、身体安全・無病息災・息災延命の功德があり、特に頭痛に良いと伝えられています。年に一度のこの日は、不動堂で御護摩修行に参列された方々が内陣に入る際、額に牛王宝印を授かり、お不動様のお膝元にそれぞれ願いを祈り参拝されました。(松本記)

総本山御一行来山

一月十八日、総本山智積院より芙蓉良英宗務総長をはじめ内局の皆様総勢九名が新年のご挨拶に来山されました。御一行は大護摩修行に参列され世界平和・疫病退散・興隆佛法・宗門繁栄を御祈念されました。(丸山幸記)

防火演習

昭和二十四年一月二十六日に法隆寺金堂より火災が発生し、壁画が焼損したことに基づき、毎年一月二十六日は「文化財防火デー」と定められ、当山でも日野消防署をはじめ各関連団体のご協力を頂き防火演習が行われました。当日は朝九時でも放水した水が凍りつくほどの寒さでしたが、ピリッとした緊張感のあるてきばきとした各隊の動き、そして最後の全隊一斉放水は壮観でした。(百戸記)

豆煎式

一月三十一日、今年も多くの参拝者が集まる中、豆煎式が執り行われました。不動堂より御護摩修行で灯された火を運び、大香炉にて節分で撒かれる豆を煎りました。大きなしゃもじを使って、二年振りに参加したわかくさ幼稚園の園児六十名に元氣一杯煎って頂きました。その後園児達は不動堂前にて、恒例の一足早い豆撒きを行い「福は内！」の元氣な声が境内に響きわたりました。(速水記)

貫主の主な動静

12/2 観光協会・12/5 仁和会評議会



総本山内局ご一同様

- (京プラ八王子)・12/6 ジェイコム撮影・12/8 新選組まつり実行委・12/10 菊まつり表彰式・12/11 総代世話人会・12/13 煤払い・12/15 京王本社挨拶・12/16 智積院の名宝展(サントリー美術館)・12/21 社会福祉協議会寄付お届け
- 12/22 星まつり法要・1/1 1/3 新年大護摩修行・1/10 裏千家互礼会(ニューオータニ)・1/11 江戸消防新年会(新宿)・1/18 内局年賀・1/20 別格本山会議(別院)・1/23 まちおこし協議会・1/26 文化財防火演習・1/28 初不動大祭・1/31 豆煎式・2/3 節分会・2/6 1/29 一流伝授(京都)・2/13 仏前結婚式(戒師)・2/16 教区総会(立川)・2/20 新選組まつり実行委・2/21 観光協会・2/22 警備反省検討会・2/26 水福寺結婚披露宴(大宮)

節 分 会

三年振りに舞台からの豆撒きが再開され、多勢の年男様にご参加頂きました。今年特別参加された方は、つのだ☆ひろさん、笛木優子さん、U字工事のお二人、寺泉憲さん、藤原浩さん、其原有沙さん、岩崎愛子さん、アレックスさん、ミス日本各受賞者の皆さん、祇園の舞妓さん芸妓さん、ハローキティちゃん、イータクんの皆様です。

女優 笛木 優子

皆さんに福のお裾分けのお手伝いができて嬉しかったです。皆さんに沢山の福を呼び込めたと思います。貴重な経験を有難うございました。

U字工事 益子 卓郎

貴重な体験を有難うございました。沢山の方に福を分けることができ幸せでした。大変お世話になりました。

U字工事 福田 薫

新選組の大ファンという事もあり、家族で毎年初詣に来ている高幡不動尊で、豆撒き



元気いっぴいのつのだ☆ひろさん

に参加させて頂き光栄でした。初詣からの開運そばが我が家のルーティーンです。一生の思い出になりました。有難うございます！

俳優 寺泉 憲

節分会に参加させて頂ける幸せを噛み締めております。ご来山の皆様様の開運招福を祈願して、三年分の大きな声で福豆を撒かせて頂きました。「福は〜内！福は〜内！」

プラットガール 其原 有沙

初めての参加でしたが、多くの方に福豆をお届けできてとても嬉しかったです。今年も日頃から感謝を忘れず色々な事にチャレンジし、ハッピーな一年になるよう頑張ります！寒い中、多くの方にお越し下さり、本当に有難うござ

いました。

歌手 藤原 浩

コロナウィルスが長引き、三年振りの豆撒式に参加させて頂き、本当に有難うございます。今年は少しでも元の日常に戻る事を祈ります。「福は〜うち〜!!」

歌手 岩崎 愛子

三年振りにお招き頂き感謝の気持ちでいっぱいです。皆様にとつて健康で幸せな一年となりますことを祈念しております。「高幡慕情〜ト」と今年も高幡不動尊のPRを頑張つてまいります。

モデル アレックス

初めて豆撒きに参加させて頂き、とても楽しい有意義な時間を過ごさせて頂きました。お越し頂いた皆様に福が舞い降りますよう笑顔満点で楽しんで豆を撒きました。「福は内!!」

祇園芸妓 佳つ春

沢山の方々が集まる中、福を撒くお手伝いをさせて頂けて嬉しおした。一年良いお年となりますように。またお頼み申します。

祇園舞妓 佳つ秀

初めて豆撒きを体験させて頂き、すごく楽しおした。来年もぜひお頼み申します。「福は内〜!!」

ミス日本グランプリ

三年振りの開催と伺い、このような貴重な体験が出たことを、とても嬉しく思います。沢山の方と交流をし、笑顔を見し多くのパワーを頂きました。皆様に福が訪れることを心より願っております。

ミス日本みどりの大使

上村さや香
参加させて頂いたこと、とても嬉しく思います。「みど



大人気のハローキティちゃん

りの大使」として自然豊かな高幡不動尊で良い天気恵まれ貴重な時を過ごさせて頂きました。卯年の年女として皆様に精一杯「福」をお届けしました。

ミス日本の日

稲川 夏希

人生で初めて年女として豆撒きをさせて頂きました。来て下さった皆様のお顔を見ながら福をおわけることができ、とても幸せでした。この一年間、皆様が沢山の福に見守られ笑顔でお過ごし下さるようお祈り申し上げます。

準ミス日本 東海林杏朱

幼稚園以来の心はずむ豆撒きでした。「福は内」という言葉で皆様がひとつになつていく様子がとても素敵でした。本日は有難うございました。

ミス日本ミス着物

寺嶋 琴

来て下さった皆様が福いっぱい気持ちで帰れるよう、精一杯に福豆を、幸運を撒きました！とても楽しく、幸いっぱいの二〇二三のスタートとなりそうです！

諸行事に参加して

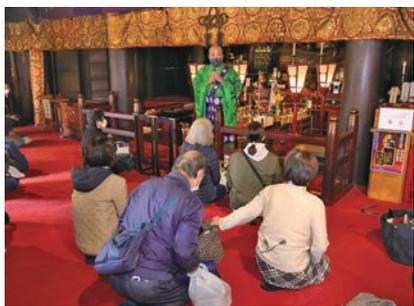
法話実習 (11/28)

昨秋、総本山より法話実習の先生六名が来山され、御護摩修行の前に御法話を頂きました。

旭川市 眞久寺

久志 卓豊 先生

高幡不動尊様のような御由緒ある名刹の御寺院で法話をさせて頂くという機会を与えて頂き、本当に有難く感じています。また、スピーカーを通して堂内外の多くの参詣者に話を聞いて頂き、直にその反応を感じながら法話が出来たので大変勉強になりました。



総本山研修生の御法話

した。

南房総市 沼蓮寺

毛利 芳己 先生

本日は、この様な実践的研鑽の場を与えて下さり有難とうございます。自坊では法事や葬儀の法話をする事が多いのですが、護摩前はあまり経験がありませんので、声の出し方、間のとり方など精一杯工夫を致しました。又、この様な大きな所でお話しをする為の度胸も大切だと勉強になりました。

星まつり (12/22)

相模原市 馬場 美幸

毎年一年の締めくくりに参加させて頂いています。長男が小さい頃から二十年以上参加させて頂いてますが、お経がとても心地良く涙が出てきます。家族でいつまでも参加していきたいです。

相模原市 内藤 節子

いつも星まつり有難とうございます。この星まつりが一

番の心のよりどころです。私の誕生日なので、皆様にお祝いで頂いている様で嬉しさが倍です。有難とうございます。

八王子市 保川 研二

毎年来ています。法要後の接待で人との縁を実感します。一期一会の素晴らしさを感じました。

日野市 佐久間彩子

星まつりの修行は初めて参加させて頂きました。暗く寒い中、護摩の炎を見て温かい気持ちになりました。来年に向けてパワーを頂いた気が致します。うどんとお新香のご接待も心尽くしのおもてなしで嬉しいです。遅い時間まで有難とうございました。

相模原市 内田 弘美

毎年来てさせて頂いています。星まつりに来ないと新年を迎える準備ができない気がします。お陰様で気持ち良く新年を迎えられます。ご接待まで有難うございました。

成人式 (1/9)

八王子市 橋爪 美希

コロナなど社会が不安定な



感染対策をしてお冬うどん

に思うかもしれませんが、中学・高校・大学で様々な人と出会い、支えられ、忙しいながらも充実した幸せな日々を過ごしているから楽しみにしていますねと伝えたいです。今年は今まで自分を支えてくれた人達に感謝を伝える一年にしたいです。

牛王宝印可 (1/15)

相模原市 薄井 和彦

牛王宝印を授かり、今年一年健康に安全に過ごせる様に感じられました。どうも有難とうございました。

福生市 高橋 洋子

毎年、お正月にはお参りさせて頂いてますが、牛王宝印は初めての経験でした。おでこにということでも少し不安でしたが、今年も良い年になる様にと印を頂きました。

八王子市 大内 英彦

良い日に参拝出来て良かったです。コロナが早く終息します様に。

稚児行列 (1/28)

横浜市 上田 朔矢

豆煎式(1/31)

三歳から参加させて頂き、毎年楽しみにしていた行事です。親子でとても良い思い出を作ることができ、本当に有難うございます。来年も是非参加したいと思えます。

調布市 鈴木 志野

お不動様が大好きで、お稚児さんに参加できた事が大変嬉しく思います。皆様親切にサポートして下さい無事に終えて本当に良かったです。欲しかった御札も頂け、お昼ごはんもあり、着替えて出番まで時間もたっぷりあり、写真を沢山撮れたので良かったです。四月も是非参加させて頂きたいです。

立川市 小塚 凱斗

メイクの方、着付けの方、お茶を出して下さい下さる方、皆さん優しく親切で有難うございました。だだをこねてご迷惑をお掛けしました。メイクの方が「着付けしてからでもいいわよ」と声を掛けて下さり助かりました。

日野市 なかのほのみ ドキドキした。メイクしてもらえて、うれしかったです。

竹添 末緒

連日続く寒さに負けず、園児達は元氣いっぱい豆煎式に参加させて頂きました。

堂内での御護摩では厳かな雰囲気の中、やや緊張した面持ちで数珠を握る姿が、可愛いらしくも園の代表として頼もしくも感じられました。最後は「福は内！」と豆撒きをしました。コロナ禍において、わかくさ幼稚園の園児達は三年振りの参加となりましたが子供達が元氣いっぱい撒いた豆を食べて邪気を払い、今年こそコロナの鬼を払えますように。

日野市 吉本 恭子

三年振りに園児参加の豆煎式が行われました。まずはお護摩修行。お不動様も間近に沢山のお坊さんによる読経。厳格な雰囲気の中、園児達は正座の足を何度も正し、最後まで耳を傾けていました。豆煎式では、お坊さんに抱き上げてもらい背丈程ある杓文字で鉄鍋のお豆をかき混ぜます。



園児が大活躍(豆煎式)

が、こうした伝統行事に親子で参加でき、素敵な思い出になりました。

アルバイト

八王子市 石原 和香

電話応対、御朱印受付、御護摩申込など慌ただしくも貴重な体験を積ませて頂きました。夜通しの仕事は大変でしたが、大晦日から正月にかけての特別な時間をお寺で過ごせた事は、とても思い出深かったです。お昼ご飯も美味しく、毎日の仕事の楽しみになりました。素敵な機会を頂き本当に有難うございました。

町田市 原 天音

お寺で働くことは初めての経験で、不安もありましたが、普段の年末年始で味わうことのできない貴重な経験をさせて頂くことができました。嬉しく思います。仕事を職員の方や経験者の先輩方が丁寧に教えて下さり、少しずつ参拝者の方々や円滑に会話出来るようになりました。また働くなかで、顔を合わせる方誰もが挨拶を交わし、感謝の意を

伝えていたことが印象的でした。当り前のことではありませんが、当り前に思え行動一つ一つが気持ちの良い参詣を支えているのだと感じました。短い時間でしたが、充実した時間を有難うございました。

府中市 福原涼太郎

今年で五回目のアルバイトとなり、五年間の体験は他では経験できない貴重なものとなりました。特に挨拶の重要性は、これからの社会人として掛替えのない宝となるでしょう。毎年のお手伝いが楽しみでしたので少し淋しさもありますが、就職後は別の形で携えたら幸いです。有難うございました。



華やかな新成人の皆様

奥殿だより 第三回

「涅槃図」の修復作業

前号では、現在進行中の「涅槃図」の修復が何故必要なのかを説明致しました。今回は、掛軸とその修復作業の内容と分ったことについて、ご紹介致します。

最初に、掛軸の構造説明から始めましょう。なお、表具に関する用語は、表具工房や職人によって異なることがあります、本稿と異なる用語が使用される場合があります。

掛軸を掛けますと、表に書や絵が現れます。その書や絵を本紙といえます。その裏側には何枚もの紙が裏打されて仕立てられております。一般的には、順に、本紙↓肌裏紙↓増裏紙↓中裏紙↓総裏紙と裏打していきます。

修復作業は、その逆に総裏紙↓中裏紙↓増裏紙↓肌裏紙と剥がしていきます。その際、本紙の絵の具剥落を防ぐ為に、膠を塗布して養生したり、本紙の上に一時的に表裏打とい

う裏打をしたりします。

古い裏打紙を除去して本紙だけの状態にしてから、新たに裏打して掛軸に仕立てていきます。「涅槃図」の場合、明治四十年（一九〇七年）の前の修復時の裏打紙を順番に剥がしていきます。裏打にはゆるい糊を使用するのですが、前回の裏打に使用した糊が非常にかたく、湿りを加えても中々ゆるまず、剥がすのに大変時間がかかりました。

「涅槃図」は書画用に使用される間似合紙に描かれてお



霧吹や刷毛でしめらせ、以前の糊をゆるめて、総裏打紙から少しずつ剥がしていく。

りますが、裏打紙にも一般的には裏打に使用しない厚めの間似合紙を使用しております。間似合紙は水分が加わると伸びやすく、その為、裏打の際に水分の少ないかたい糊を使用したのかもしれない糊

現在では、肌裏紙としては薄美濃紙、増裏紙と中裏紙には三柄紙を使用するのが一般的で、間似合紙を使用することはありません。

掛軸は巻いて保管されているものであることから、横折れが良く生じます。扱い方が



裏打紙が層をなしているのが見られる。

良くないなどが原因で縦折れが生じることもあります。縦折れよりは少ないです。この折れをそのままにして使用していきますと、そこから切れてきます。修復に際しては、肌裏紙の上から、多くは増裏紙の上から、折れた部分に幅二〜三mmの薄美濃紙などを貼って補強します。折伏と言います。

明治四十年の修復時にも総裏紙の上から折伏を行っております。しかし、使用した紙の幅が1cm程と広すぎ、場所も適切ではなく、逆に折れを助長しておりました。



修復前の折伏の状況、横折れも見られるが、縦折れも多い。

掛軸には掛ける為の紐（掛緒）をつける金具や軸先の金具などが釘で止められております。各種金具は錆びないよう、真鍮製であり、止める釘も真鍮製であるのが普通ですが、明治四十年の修復では鉄釘が使用されておりました。錆が進行すると、釘が折れたりして金具が外れるなど危険な状態になる可能性があります。

今回、修復作業の為に掛軸の解体を行ったことにより、表面から見ていただけでは分からない欠陥の数々が判明しました。以上の事だけ見ても、明治四十年の修復は、あまり修復作業の経験の無い職人が行ったようです。裏打紙が一寸近く重ねて接がれている箇所もありました。通常は〇・五分程重ねて接いでおります。濃いめの糊で継手部分が幅広くなっていた為、その部分が硬く強くなり、折れを生じる原因となっております。

古く修復された他の文化財も、不適切な材料や技法によっている可能性があり、表面からのみでは不十分ですが、詳細に診断して見る必要があります。 (藤井和夫記)

高幡いきもの曼荼羅

②②

高幡不動尊ではお正月やご縁日などのお祭りに際して、お堂が五色の幕で荘厳されます。この五色（緑黄赤白紫）は仏様の智慧を表す色であり、自然を構成する基本的な色彩です。またそれは四季折々の草花の色でもあります。

例えば寒さ厳しい冬、沢山の花を咲かせた植物は緑色の葉で過ごします。春になり太陽の力が増してくると、フクジュソウのような黄色の花が咲き、そして徐々に赤い花々が増えてきます。更に夏になると白い山紫陽花や紫のシヨウブなど様々な色彩に溢れます。

山川草木悉有仏性とは、森羅万象、自然界の鳥や昆虫や植物にも悟りへ至る真理が顕われているという意味です。とりわけお寺は多様性を受容しつつ持続可能なエコシステムであり、またいろんな動植物を目にするこの出来る憩いの場所です。高幡不動尊の境内の自然に包まれながら、自分なりに感じた仏様のイメージを膨らませてみてはいかがでしょうか。



フクジュソウ



ヤマツツジ



シヨウブ



ヤマアジサイ



フキノトウ

なにげなくつかっている仏教のことば—外用（がいよう・げゆう）

いわゆる口から飲む薬を内服薬、これに対し、体の外側（がいそく）に用いる湿布薬や塗り薬を外用薬と言います。

仏教では外用を「がいよう」とは読まず、「げゆう」と読み習わし、内から外へ向かう

作用・はたらきの意で用いられています。具体的には、仏がわたしたち衆生に行う説法や、仏による人智を超えた不思議なはたらき（神変加持）などのことを指します。

私の説法は、言うなれば衆

生（せい）の心を癒やす薬であり、わたしたちが周囲の人に向ける笑顔や、おもいやりの言葉などもまた、外用の心の薬といえるのではないのでしょうか。

（小林靖典）

お不動さま教えて？

質問 五重塔地下の休憩所にある掲げられているお釈迦さまのレリーフについて教えてください。

（前号のつづき）

お答え

はい、お答えします。

五重塔地下の休憩所にあるレリーフの十二枚目は《禅定》です。



いたずらに身心を痛めつけるだけの無意味な苦行を止め、スジャータから乳粥の供養を受けて体力と気力を回復したシッタールタは、ガヤーの町はずれの、後に菩提樹と称される大樹の下に吉祥草を敷いて坐り、「さとり」という目的を達成するまでは、決して座を起さない」と堅く誓い、静かに禅定（瞑想）に入りました。禅定のレリーフの右側には、その誓いの清浄さと堅さを象徴する象が描かれています。

降魔

シッタールタの行った善行の証明させるために大地の神を呼び出す姿であり、同時に悪魔に勝利したことを表しています。その周囲には、怒りと憎悪をむき出しにした悪魔の軍勢が、また、左下にはシッタールタを誘惑する悪魔の三人の娘が描かれています。

禪

そこでレリーフに眼を移せば、中央には右手の指先を大地に触れる降魔印（触地印ともいう）を結んだシッタールタ太子がいます。大地に触れるこの姿は、シ

レリーフの十二枚目は《降魔》です。

シッタールタがさとりを得ようと禅定に入ったことを知った悪魔は、軍勢を率いてシッター

（次号につづく）

弘法大師ご誕生一二五〇年慶讃 多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友お誘い合せてご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

- 一、巡 拜 毎月第一週の火・木・日曜日(五月は第二週)
- 一、会 費 四九、六〇〇円(七回分)分割納入も可
(納経料・バス代・保険料等を含む)
- 一、昼 食 各自持参

※詳しくは高幡山事務局内「龍華会」まで

電話 〇四二五九一〇〇三三番



青葉まつり記念法話

- ・日 時 六月十五日(木) 午後一時から
- ・会 場 大日堂(聴講無料)
- ・講 師 川崎大師平間寺教化部教務課長
館山市 高性寺御住職
- ・演 題 「お大師さまの言葉
〜 私たちへのメッセージ〜」
寺 田 信 哉 先生

青葉まつり……真言宗の宗祖弘法大師空海上人は宝亀五年六月十五日に讃岐善通寺でお生まれになり、真言宗中興の祖興教大師覚鑿上人は嘉保二年六月十七日に九州肥前の国でお生まれになりました。両祖大師のご誕生を慶祝し、その業績を讃える法要です。本年は弘法大師空海上人ご誕生一二五〇年の勝縁の年に正当致します。

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時〜午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

〇ご祈願料 金三、〇〇〇円也

御護摩修行

〇平日 八時・十時・
十一時半・一時・三時

〇土曜・日曜・祝日
八時・十時・十一時半・
一時・二時半・四時

〇但し二日、十五日の午前中は
五時・十時・十一時半

〇ご縁日(二十八日)
五時・九時・十時・十一時・
十二時・一時・二時半・四時

〇御護摩料 金三、〇〇〇円也
金五、〇〇〇円也
金一〇、〇〇〇円也

(大護摩) 金三〇、〇〇〇円以上

ご縁日 毎月二十八日
境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)
毎月第二日曜日(雨天中止)
ござれ市(がらくた市)
毎月第三日曜日(雨天決行)
お焚き上げ
毎月十五日午前九時

月例写経会
毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要
毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)
午前九時〜午後四時
拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観
午前九時〜午後四時
参拝料 二〇〇円
(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

毎年節分行事が済む頃、梅檀の実を啄みにヒヨドリがやってきます。人や動物には害があるようですが彼らにはご馳走なのか将又他に食べるものが無いのか不明ですが二、三日の内に全ての実がなくなってしまう。又境内の池にはアカガエルが出てきたりと冬から春へと季節が動いています。

ご参詣の皆様のご協力のもと年初の諸行事が恙無く勤められましたこと感謝申し上げます。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733
別 格 本 山
高 幡 山 金 剛 寺
電 話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038
発行人 黒川高徳
編集人
年4回発行・再生紙使用